

今場所も残すところあと4日。越境山が単独トップに立ってはいくが、これからの上位との対戦で勝っていくのはかなりハードルが高そう。

今の勢いからして、順当に行けば大関西神門がこのまま勝ち星を重ねて優勝するのではないかと、声が聞こえてくる。

しかし、何が起るかわからないのが紙相撲。今後、西神門との対戦が予想される3横綱もそれぞれ横綱の意地があるだろうし、鬼ヶ嶽にとっては大関返り咲きの夢もある。

果たして優勝争いはどのように展開していくのか？次回の本場所では3月15日開催の予定。乞うご期待。（錦風）

十両は大石丸が全勝、他を圧倒！

五日目まで一人全勝の大石丸が7連勝として単独トップを守った。

中日に若雲山を万全の寄りで下すと七日目は十両最年長の玄武岩戦。のど輪での一発勝負にかけた玄武岩。その思惑通りに大石丸にのど輪を入りに成功したが見せ場はここま

大石丸がこれを余裕をもって残すとは引き落とすに下した。まさしくここまでは死角のない完璧な相撲を見せていて、十両5場所目にしてようやく優勝が見えてきたか。

大石丸に続く1敗勢は音柱、鳥海波、日向の3人。音柱は大石丸にも引けを取らない安定した取り口で玄武岩と若雲山を一蹴。



若雲山●(寄り切り)○音柱



大石丸○(引き落とし)●玄武岩

のダブル昇進の可能性も高くなっていくだろう。

十両に陥落してから波は七日目にして早々に勝ち越しにこぎ着けた。

調子の上がらない同部屋、雪若丸と朱雀湖が白星に恵まれず、中、鳥海波は部屋として救いだ。八日目に降参しても場所を面白くするために春日根勢に割って入りたいところだ。

十両尻も目の前という地位まで落ちてきた日向藤は、五日目に磯雷光に連勝を止められ、白星を重ねることなく、嬉し勝ち越しを決めた。再度の幕内復帰に向けて番付を上げていき

桐壺部屋では椿富士と虎麒麟が初日から白星なく7連敗。虎麒麟はすでに陥落が決まってしまうが、2人揃っての陥落とならないよう椿富士は残り四日負けは許されない状況に追い込まれた。

(山里)

幕下は今場所も錦風旋風

幕下は二日目、三日目が行われ3戦全勝は磐若、逆元春、松錦、紅の華の4人。

磐若はこちらも悲願の関取を目指す大松戸部屋の出雲山を寄り切



磐若○(寄り切り)●出雲山



若草山●(寄り切り)○日向藤



鳥海波○(上手投げ)●黒夢心

逆元春は先場所十両から陥落してどうなるかと思われたが、幕下の土俵で水を得た魚のように動きも軽快に白星を重ねた。

「こいつは幕下では強いんだよね。」とは錦風親方。一場所での返り咲きを果たすには最低でも4勝が必要となりそうだが、実弟の逆本が三段目で連勝を重ねており、史上初の兄弟同時優勝で一気に十両復帰を決めたいところだ。



逆元春○(寄り切り)●磯日丸

松錦は三日目に朝日勢を右の差し合いから先にのど輪を決めるうまい相撲をみせた。

松ヶ神部屋初の関取誕生に期待がかかる。来場所に繋げる意味でも四日目に降参の相撲が大事になってくる。



松錦○(押し倒し)●大勢

先場所初土俵以来初めて負け越しを喫した紅の華が、元同部屋伊勢之里と桐壺の竜雲をのど輪攻めから倒して存在感を示した。

今や紙界を席巻する春日根部屋だが二場所前の音柱に続き優勝を勝ち取るのか注目されそう。



竜雲●(押し倒し)○紅の華

四日目は磐若に松錦、逆元春に紅の華という対戦が予想される。果たして優勝に駒を進めるのは誰になるのか楽しみだ。

その一方で、東14枚目の鶴乃里が3連敗で負け越しとなり、残念ながら廃業が決定的となった。龍不動に次ぐ2番手として部屋の上期待を背負い十両も4場所務めたが、土俵に上がるのも残り2日となった。

(勝間田)

三段目、序の口

三段目は序の口序二段を連覇した逆本が今場所も3連勝し、初土俵以来13連勝と無敵の勢いだ。

これまでの記録は桃山部屋荒の城の14連勝。史上初の三段連続



逆本○(寄り切り)●熊王



播場●(寄り切り)○把若寿

ほかには同門の先輩、大熊部屋初幕下昇進を狙う笹熊、未完の大器、住之江部屋の把若寿が3勝を挙げている。



天真●(寄り切り)○森倉



龍天桃○(押し倒し)●浪花

川付出勢の中では加古浪の花が勝ち越しまであと1勝としている。



魁○(寄り切り)●若西東